

令和5年度第2回士別市社会教育委員の会議議案

□と き 令和5年9月28日（木）15時10分

□ところ 士別市役所 3階 委員会室

1 開 会

2 挨拶

3 報告事項

(1) 各種研修会報告

①上川管内社会教育委員基礎講座 9月12日

(出席者：古川委員、田中主事、工藤アドバイザー)

(2) 令和4年度士別市社会教育施設利用状況（追加報告）

資料1

(3) 社会教育事業実施状況

資料2

4 協議事項

(1) 人材交流・文化振興補助事業への社会教育委員意見聴取について

資料3

5 研究活動

(1) 委員交流（テーマ「社会教育活動への関わりについて」）

資料4

…グループに分かれて、テーマに関しての交流を行う。

6 連絡事項

(1) 各種研修会の開催予定について

①10月20日

北海道社会教育研究大会（空知大会）兼全国社会教育委員
連合北海道ブロック大会【オンライン開催】

②11月16日～17日

上川管内社会教育委員・公民館運営審議会委員合同研修
会【上富良野町】

(2) 会議予定について

第3回 12月20日（水）

第4回 令和6年3月13日（水）

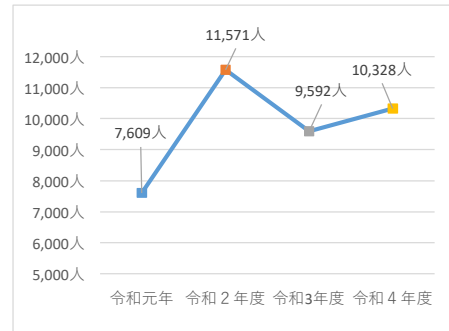
を予定しています。会議開催1か月前には、日程確認をさせていただきます。

令和4年度社会教育施設利用状況(追加報告)

資料 1

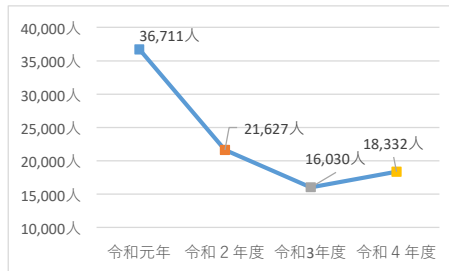
1. スポーツ交流館

令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
7,609人	11,571人	9,592人	10,328人



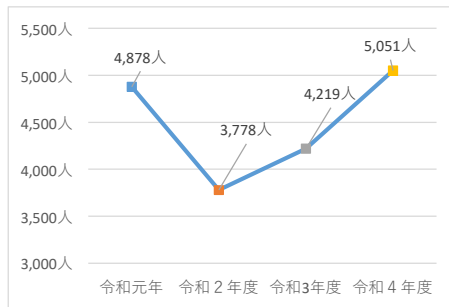
2. 陸上競技場

令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
36,711人	21,627人	16,030人	18,332人



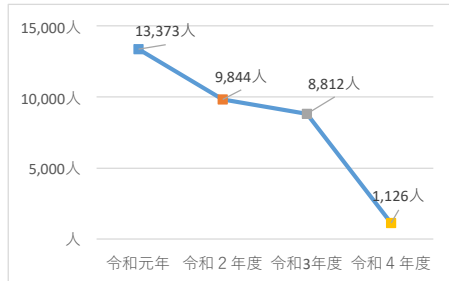
3. ふどう野球場

令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4,878人	3,778人	4,219人	5,051人



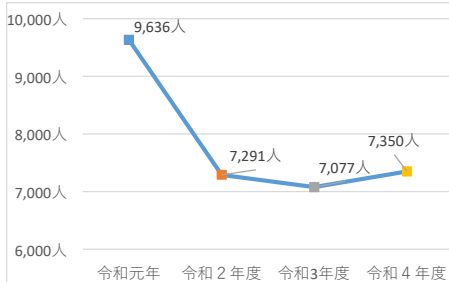
4. 天塩川サッカー場

令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
13,373人	9,844人	8,812人	1,126人



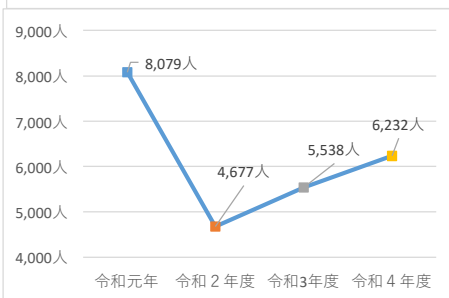
5. 南郷プール

令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
9,636人	7,291人	7,077人	7,350人



6. ふどう・天塩川パークゴルフ場

令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
8,079人	4,677人	5,538人	6,232人



令和5年度社会教育事業実施状況

資料 2

令和5年8月31日現在

担当課	事業名	事業目的	実施内容	参加者数
社会教育課	士別ふるさと体験広場 職業体験コース	地域の特色を活かして、市内企業の協力による職業体験、社会教育団体の協力による普段は経験できない文化体験、市内の自然や歴史を肌で感じる自然歴史体験の機会を提供し、児童のふるさとへの郷土愛を育む。	第1回 塗装業体験（講師：塗装組合青年委員4名） 第2回 販売業体験（講師：西條士別店2名） 第3回 郵便局体験（講師：士別郵便局1名）	登録児童数：21名 12名 10名 13名
	しべつチャレンジ寺子屋	望ましい学習・生活習慣の定着と自立する力及び他者と協働する力を身に付ける。	自主学习と、友達づくりゲーム、ニュースポーツ（キンボール）、川遊び、高校生企画ゲームなどの体験活動	市内小学3～6年生 延べ85名参加 翔雲高等学校生徒 延べ31名参加
	家庭教育推進事業	家庭教育推進員と協働して家庭教育に関する情報提供を行う。	家庭教育推進員会議 家庭教育つうしん発行	会議 3回 発行 1件
	コミュニティ・スクール (地域学校協働活動)	地域と学校が連携・協働しながら、より良い教育と地域コミュニティの活性化を図る。	9つの学校運営協議会を開催 CS通信発行	協議会委員 延べ117名 発行 1件
中央公民館	高齢者学習推進事業 「学び舎つくも」	集い・学び・交流をとおして高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、同世代の広い繋がりを構築する。	北海道学 ①「水と土と心」から学ぶ士別の歴史 ②懐かしの士別商店街 ③名寄市の歴史 教 養 ①ドラムサークル体験 ②防災センター見学&写生会 ③防災対応ゲーム「クロスロード」 くらし ①野生動物について ②中学生から学ぶスマートフォン講座 ③終活のお話①	登録者数：81名
	公民館講座	日常に取り入れることが出来る創作活動とおし、公民館を身近に感じてもらい、同じ趣味を持つ仲間との繋がりを広げることがを目的とする。	未実施	
	1市2町リーダー研修	子ども会や少年団活動等の活性化を図るため、集団での様々な体験活動を通して、学校や各地域で活動する際のリーダーとしての必要な知識・技能を習得するとともに、1市2町の児童の活発な交流を図る。	第1期 会場：剣淵町 火起こし体験、サップ・カヌー体験等 第2期 会場：和寒町 キャンプ体験(前日の雨により地面がぬかるんでいたため体育館に宿泊)、KYT(危険予知トレーニング)、ウォークラリー等、	児童数13名 (うち士別参加者数3名) 児童数18名 (うち士別参加者数3名)
	士別ふるさと体験広場 文化体験コース	地域の特色を活かして、市内企業の協力による職業体験、社会教育団体の協力による普段は経験できない文化体験、市内の自然や歴史を肌で感じる自然歴史体験の機会を提供し、児童のふるさとへの郷土愛を育む。	第1回 羊毛クラフト 第2回 茶道体験	登録児童数：19名 14名 13名
	士別市子ども議会	市内中学生の「まちづくり」等への興味・関心を育み、子どもへの自由な発想を生かした意見・要望を市政へ反映させることを目的とします。	任命式・第1回学習会 議会、まちづくりの仕組みについての学習、質問テーマの検討 第2回学習会 調査、研究 第3回学習会 学習内容の発表、質問通告書づくり	子ども議員数：6名
上士別公民館	公民館講座	上士別の地元の生態系を学ぶことを目的として、親子で参加してもらい、親子のふれあいと自然の生き物の魅力を知り、環境に優しい心と情操教育を目的とする。	【博物館連携講座】 当初予定の『川の生きものさがし』は河川増水により中止。代替講座として、『化石のレプリカづくり』を実施。(講師：博物館 本部主任主事)	こども 7名 保護者 5名 計12名
	サケの稚魚放流体験	上士別地区の豊かな自然と清らかな河川の大切さに興味・関心を深めることを目的とする。	小学校でのサケの飼育を検討していたが、現状困難であったため、公民館で飼育 4月25日、上士別大和地区の銀川にて『サケの稚魚放流体験』を実施した。	51名 うち児童 25名
	こども水泳教室	水の体験と泳法を学ぶ	水泳教室 (講師：士別市水泳協会)	延べ26名
多寄公民館	公民館講座	市民に手話を学ぶための場を提供し、聴覚障がい者との意思疎通、相互理解を深めることができるよう、日常会話に必要な手話の基礎知識を習得する。	手話講座7月(3回開催) 講師：士別手話サークル2名	延べ17名
	親子施設見学会【後援】	ライフスタイルの多様化等により、地域とのつながりや支え合いが弱まってきている中、視察研修を通して親睦を深め、様々なことを経験し、社会性を育むことを目的に開催する。	旭川市科学館サイバル	合計31名 (保護者10名、子ども21名)

令和5年度社会教育事業実施状況

資料 2

令和5年8月31日現在

担当課	事業名	事業目的	実施内容	参加者数
温根別公民館	公民館長杯パークゴルフ大会	パークゴルフを通じて、町民の親睦交流及び健康の増進を目的とする。	パークゴルフ大会	16名
	温根別子ども市外体験研修	子ども達の社会性を養い、集団で行動するためのルールや協調性等を学ぶとともに、親子間の交流を図ることを目的とする。	札幌市民防災センター、白い恋人パーク見学	25名
	公民館講座	公民館講座を通して、学習意欲の向上と同じ趣味を持つ仲間との繋がりを広げることを目的とする。	4地区公民館合同フラワーアレンジメント教室 (講師：千葉晃樹氏)	10名
図書館	読み聞かせ会	絵本の読み聞かせにより、幼少期から本から得られる楽しさやあたたかさ、図書館への興味を持ってもらう。	毎月1回、ブックスタート対象者以外の幼児のよみきかせ会や、子ども読書週間、平和推進事業など各種イベントでのよみきかせ会	延べ112名参加
	ブックスタート事業	絵本の読み聞かせと親子のふれあい遊びを行い、説明を添えた冊子と絵本を0才及び3才児へ贈呈する。		0才：5回 18名 3才：9回 19名
	移動図書館ヨムヨム号	図書館から遠隔の地域、小中学校保育園等へ巡回し、読書活動の促進を図る。		市内23箇所、各地区13箇所 利用者868名 利用冊数4,897冊
	手づくり絵本教室	本への興味を持ってもらうため、子ども大人を対象とした事業。	絵本を全て自分で作る。(装丁のみ、内容はそれぞれの家庭で)	11名参加
	展示	季節、時事に即した本の展示による図書館利用促進と読書活動促進を図る。	結成！えがお応援団、女流作家の時代、道みんの日ほか	
生涯学習情報センター	生涯学習フェスティバル	市民の生涯学習の成果・発表の場を提供し、創作・創造活動への関心を高め、生涯学習活動を推進し、本市の文化振興に寄与する。	創作作品展示(103作品)、芸能発表(開会式及び詩吟)、カラオケ発表、お茶会、陶芸体験	展示来場延べ480名、芸能発表42名、カラオケ76名、お茶会86名、陶芸30名
博物館	GWイベント「お手軽!?発掘体験」	ゴールデンウィークにおける博物館の利用促進と土別地域の自然や歴史への興味関心を高める。	小さな石の塊から本物の化石や宝石の欠片を掘り出す。	大人108名、子ども187名
	自然観察会	自然観察を通して、地域の自然への興味関心を高め、理解を深めるために開催する。	春の自然観察会「身近な野鳥を探してみよう」	大人12名、子ども4名
	共催講座		エゾサンショウウオと春の生き物観察imトヨタ土別試験場 (トヨタ自動車(株)土別試験場との共催)	大人20名、子ども9名
	土別ふるさと体験広場 自然歴史体験コース	地域の特色を活かして、市内企業の協力による職業体験、社会教育団体の協力による普段は経験できない文化体験、市内の自然や歴史を肌で感じる自然歴史体験の機会を提供し、児童のふるさとへの郷土愛を育む。	第1回 自然散策と木の名札づくり 第2回 火起こし体験 第3回 昆虫採集 第4回 川の生き物探し	登録児童数：23名 登録児童16名、家族19名 登録児童19名、家族15名 登録児童10名、家族13名 中止
	主催講座		ウチダザリガニを探してみよう！ 考古学体験講座「勾玉づくり体験」	大人10名、子ども20名 大人5名、子ども8名
	出前講座	幅広い世代の市民に対して、郷土の歴史や自然をテーマとした講演会や体験活動などの教育普及活動を実施する。	地域ネット緑の散歩道「お話し会」のぞみ園「バードコールづくり&自然散策」 学び舎つくも「懐かしの土別商店街」 土別小学校 科学クラブ「雪と氷のミニ実験」 土別南小学校 理科「季節と生き物～春と夏の野鳥」 愛知県立明和高校北海道研修事前学習(リモート) 土別小学校 理科「季節と生き物～春と夏の野鳥」 みよし市小学生土別市派遣団「星座観察」 チャレンジ寺子屋+みよし野外活動「川遊び」 土別公民館講座「アンモナイトレプリカづくり」 愛知県立明和高校SSH北海道研修	大人21名、子ども24名 大人43名、児童16名 児童46名、大人16名 児童43名 大人10名、児童32名 大人11名、児童63名 大人5名、子ども7名 大人17名 延べ388名
	展示		季節の行事展「端午の節句」 企画展「土別の外来生物の現在」	468名鑑賞 843名鑑賞
地域文化課	公民館講座	各種公民館講座を通して、学習意欲の向上及び健康の増進を目的とする。	R5.8.3～4 [水泳教室] (講師：福井あけみ氏) 対象：町内小学生及び中学生 R5.8.30 [ふるさと朝日再発見の旅] (講師：知恵の蔵運営委員会)	中止 14名
	あさひクラブ事業	朝日町の満60歳以上の方を対象とし連帯感に富んだ仲間づくりや社会参加を通して自ら積極的に健康と生きがいを求める市民の育成を目的とする。	R5.7.10 ヨガ教室	6名

令和5年度社会教育事業実施状況

資料 2

令和5年8月31日現在

担当課	事業名	事業目的	実施内容	参加者数
合宿の里・スポーツ推進課	2023ホリテ`イスタシヤレンジ`土別大会	日本陸上競技連盟と共催することにより、日本陸上長距離の競技力向上に貢献するとともに、トップアスリートと市民の交流によりスポーツ合宿の里づくりの推進する。	道内全5戦のうち第1戦目として土別大会を開催 全17レース	エントリー 295名 来場者 250名
	第36回サフォーク`土別ハーフマラソン大会	国内一線級の招待選手をはじめ、市民はもとより道内外より幅広く参加者を募り市民スポーツの意識の高揚とランニング人口の拡大を目的とする。	ハーフマラソンの部、10kmの部、5kmの部、2kmの部、ファンランの部 5名のゲスト等、8名の招待選手も参加 同会場ではサフォークフェスティバルも同時開催	エントリー 1,667名 大会運営者 526名
	スポーツ合宿受入	スポーツ合宿の里づくりを官民一体となって推進し、交流人口の拡大により地域の活性化を図る。	陸上、ウエイトリフティング、トライアスロン、バレーボール、スキー競技等の合宿の受け入れ。 令和5年度は、36年ぶりとなる全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会を開催。	—
	全日本スキー連盟A級公認 第31回サマーコンバインド朝日大会	各種スポーツ大会を開催し、広く参加者を募り、交流人口による活性化、市民スポーツの振興、さらには「スポーツ合宿の里」のPRなどを目的に開催する。	7/29開催 【組別】小学生4年生以下、小学生5年生以上、女子(中学生以上)、少年(中学生以上)、成年 午前：ローラースキー及びランニング 午後：ジャンプ競技	大会参加者数 エントリー：81名 スタート数：79名 内訳 【小学生4年生以下】 エントリー：8名 スタート数：8名 【小学生5年生以上】 エントリー：12名 スタート数：12名 【女子(中学生以上)】 エントリー：18名 スタート数：16名 【少年(中学生以上)】 エントリー：33名 スタート数：33名 【成年】 エントリー：10名 スタート数：10名
全日本スキー連盟A級公認 第42回サマージャンプ朝日大会 兼第26回ジュニアサマージャンプ朝日大会	各種スポーツ大会を開催し、広く参加者を募り、交流人口による活性化、市民スポーツの振興、さらには「スポーツ合宿の里」のPRなどを目的に開催する。	7/28開催 第42回サマージャンプ朝日大会(ミディアムヒル) 【組別】少年(高校生)、成年、女子(高校生以上) 第26回ジュニアサマージャンプ朝日大会 【組別】 スモールヒル：小学生男子4年生以下、小学生男子5年生以上、小学生女子4年生以下、小学生女子5年生以上 ミディアムヒル：中学生男子、中学生女子	サマージャンプ参加者数 エントリー：110名 スタート数：98名 内訳 【少年(高校生)】 エントリー：27名 スタート数：25名 【成年】 エントリー：49名 スタート数：44名 【女子(高校生以上)】 エントリー：34名 スタート数：29名 ジュニアサマージャンプ参加者数 エントリー：54名 スタート数：54名 内訳 【小学生男子4年生以下】 エントリー：3名 スタート数：3名 【小学生男子5年生以上】 エントリー：9名 スタート数：9名 【小学生女子4年生以下】 エントリー：5名 スタート数：5名 【小学生女子5年生以上】 エントリー：6名 スタート数：6名 【中学生男子】 エントリー：21名 スタート数：21名 【中学生女子】 エントリー：10名 スタート数：10名	

○士別市人材育成・文化振興事業 補助概要（新旧対照表）

資料3

■改正後（新）

	人材育成・文化振興事業	
	人材育成・文化振興事業	交流推進事業
対象者（団体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体（まちづくり基本条例に基づく市民で構成する5名以上の団体） ・ 営利事業を目的としない ・ 政治宗教活動を目的としない ・ 規約を有している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、団体（まちづくり基本条例に基づく）
	<p>【変更】概ね10人以上⇒5名以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実行委員会が設立しやすくなり、新たな仲間づくりや文化活動の活性化が期待できる。 	
対象活動	<p>【文化創作活動補助事業】</p> <p>創作発表活動、鑑賞事業、講演会・研究会、文化交流事業</p>	<p>【姉妹都市・友好都市等交流補助事業】</p> <p>姉妹都市友好都市との交流促進のための教育・文化・スポーツ・経済等の市民交流事業</p> <p>【国内外交流補助事業】</p> <p>まちづくりを目的とした国内外の地域交流事業</p>
	<p>【調査研究補助事業】</p> <p>知識・技術向上を図るための調査研究</p> <p>【研修会等開催補助事業】</p> <p>まちづくりの意識高揚・情報収集等の研修会、講演会、フォーラム等</p> <p>（市が予算措置している事業、市の他の補助金を受けている団体は対象外）</p>	
対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 謝金・旅費・需用費（食糧費は原則対象外） ・ 役務費・委託料・使用料・負担金 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅費・講師謝礼 ・ 会場借上等
補助率	・ 1/2以内（千円単位）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1/2以内（小中高生は3/4以内）
上限額	・ 30万円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100万円（小中高生は150万円）
	<p>【変更】20万円⇒30万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧文化振興補助制度の課題であった、基準の曖昧さを解消。 	
回（年）数の上限等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3回 ※単年度は1団体につき1事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10年（2回目1/4、3回目は0）
	<p>【変更】回数制限なし⇒3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧文化振興補助制度の課題であった、申請団体の固定化・長期化を解消。 ・ 団体の自主自立に向け回数制限を設定。 	
意見聴取（案）	<p>【文化振興補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付申請書、収支予算書、団体および事業に関する資料を社会教育委員に送付し、意見を聴取する。 	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内検討委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内検討委員会
	<p>【変更】社会教育委員⇒庁内検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会の補助事業から市の補助事業への移管のため、審査会も市に移管。 ・ 社会教育課長が聴取した社会教育委員の意見を付記する。 	
成果公表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業効果（実績報告書） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ レポート（実施報告書） ・ HP公開
その他支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりへの参画
募集時期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別に定める日（年度当初）（残予算に応じ追加募集） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度当初（残予算に応じて四半期ごと）
	<p>【変更】随時⇒別に定める日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一次募集期間を設定し、公平性を図る。 ・ 予算の範囲内で追加募集をし、活用の機会を提供する。 	
財源	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと創生基金 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと創生基金

■改正前（旧）

	文化振興補助金	人材育成・交流事業	
	文化振興	人材育成	交流推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化団体（文化活動を行うことを主たる目的としている団体（グループ、サークル及び実行委員会等を含む） ・ 営利事業を目的としない ・ 政治宗教活動を目的としない ・ 概ね10人以上で構成し規約を有している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、団体（まちづくり基本条例に基づく） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、団体（まちづくり基本条例に基づく）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主企画による創作発表、鑑賞提供 ・ 文化振興に関する講演会・研究会・展示会等の開催 ・ 文化交流事業（市の他の補助を受けている事業は対象外） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究 ・ 研修会等 <p>（通年的な事業、入場料を徴収する事業、市が予算措置している事業などは対象外）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 姉妹都市、交流都市との交流事業（教育、スポーツ、文化、経済等の市民交流） ・ 国内外の交流補助
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 謝金・旅費・需用費（食糧費を除く。） ・ 役務費・委託料・使用料及び賃借料 ・ その他特に必要と認めた経費 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通費・宿泊費・受講料 ・ 講師謝礼等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅費・講師謝礼 ・ 会場借上等
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1/2以内（万単位） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1/2以内 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1/2以内（小中高生は3/4以内）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20万円（ただし、委員会が必要と認めた場合は20万円を超えて補助ができる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100万円（小中高生は150万円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100万円（小中高生は150万円）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ なし（事業内容が適当と認めるときは、各年継続して、補助金の交付を受けることができる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10年 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10年（2回目1/4、3回目は0）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交付規則で「あらかじめ社会教育委員の意見を聴く」としている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内検討委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内委員会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業等効果報告書 	<ul style="list-style-type: none"> ・ レポート ・ 広報等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ レポート（実施報告書） ・ 広報等
		<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりへの参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりへの参画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別に定める日 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度当初（残予算に応じて四半期ごと）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般財源 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと創生基金 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと創生基金



社会教育委員研究活動 第2回会議「委員交流」について

1. ねらい

研究活動テーマ「市民参画を促進する社会教育行政の取組」を協議するために、これまで多方面から社会教育に関わってきた委員の経験や考えを交流し、成果や課題を洗い出す。

2. グループ分け

A班：前田議長、生方委員、酒田委員、前橋委員、高橋委員	清水主査、工藤アドバイザー
B班：鈴木副議長、本田委員、柿崎委員、佐藤委員、鶴岡委員	佐藤副長、田中主事
C班：三好委員、煙山委員、古川委員、名尾委員、吉井委員、	千葉課長

3. 交流テーマ 「社会教育活動への関わりについて」

次の3つの視点で委員各自の経験や考えについて意見交換する。

○**企画（依頼する側）**…所属している団体や企業などで活動計画時に、市民に参画してもらえようように依頼や人探しをする。

○**参画（依頼される側）**…主催者から活動の参画を依頼され、活動に関わる。

○**参加（参加する側）**…計画された活動に参加者として学習や体験をする。

それぞれの立場を経験して、良かったこと、悪かったこと、改善点、それぞれの視点の関係性など自由に交流し、それらをまとめて、今後の研究活動の方向性を決めていきます。

【イメージ図】

